

スポーツ大学生の喫煙と健康等に関する調査

片山 巧望 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 中藪 伸二

キーワード：スポーツ大学生，喫煙者率，禁煙，環境要因，タバコに対する意識

1. 緒言

びわこ成蹊スポーツ大学では、2003年の開学当初より学内全面禁煙である。喫煙者の喫煙開始時期は、20歳前後が最も多いといわれており、本学でも大学生時に喫煙を開始する学生が多いと考えられる。大学生にとって1日の大半を過ごす場であるキャンパスが全面禁煙であることに対する学生の考えや意識を調査した。また、タバコに対する意識を喫煙者、非喫煙者に分けて分析してみる。

2. 研究方法

調査1：調査対象は、びわスポ大の学生に無記名の自記式での質問紙調査について、2003～2012年分の喫煙者率を分析した。

調査2：2012年4月実施の「タバコについてのアンケート調査」の内、タバコに対する意識に関する10項目の質問に重点を置き分析した。2012年の1～4年次生の回答数は1090名であった。

調査3：「びわこ成蹊スポーツ大学のキャンパス内全面禁煙についてあなたの感想・意見を自由に書いてください」という項目から、学生たちのキャンパス内全面禁煙についての意見を詳しく探っていく。

3. 結果と考察

調査1より、びわスポ大学生の喫煙者率は、2011年10.2%、2012年8.8%と、若干減少していることがわかった。

調査2より、喫煙者と非喫煙者とのタバコに対する意識を比べた結果、喫煙者のほうが、「タバコはストレスを解消する」、「タバコは嗜好品である」など、タバコ容認の意識が強かった。 χ^2 検定で、10項目の質問の内、9つの項目で有意差が認められた。(いずれも $p<0.01$)

調査3より、学内全面禁煙に対する感想、意見からは、非喫煙者の91%の人が賛成であると答え、喫煙者でも65%と高い割合で賛成と答えているという事実が明らかとなった。

4. 結論

びわスポ大学生のタバコに対する意識に関して喫煙者と、非喫煙者では明確な違いが明らかとなった。調査3からも、全面禁煙に賛成が圧倒的に多く、「もっと厳しくすべき」「喫煙所を作るべき」という声も多かった。また、意見に共通しているのは、学校をよりよくするための意見であるということである。

引用・参考文献

小浜明ほか(2005) 大学における構内全面禁煙ポリシー評価(中間発表) びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要. 2. 81-91.

中藪伸二ほか(2011) スポーツ大学生の喫煙についての意識・実態調査. 学校保健研究. 53 (Suppl) : 279.